

草加川柳地区円卓会議の記録



日時：令和6年2月9日（金）19:00～21:00
場所：川柳文化センター会議室

■ プログラム ■

1. 開会・円卓会議に係る説明
2. 円卓会議（仮称）の親しみやすい名称を考えてみよう
3. 進行中のプロジェクトについてみんなで考えてみよう
4. 情報提供・閉会

■ 当日の記録 ■

- 1 円卓会議に係る説明を行いました。
- 2 円卓会議をより地域に根差した会議とするため、親しみやすい名称を考えました。
- 3 すでに活動しているプロジェクトを対象に話し合いを実施しました。
- 4 地域に関する情報提供を行いました。



1 円卓会議に係る説明

主な4つの役割

- ①まちづくりの様々な課題やアイデアを語り合い、共有する場
- ②プロジェクトのタネを持ち寄り、実践する創発の場
- ③ネットワークを生かしたマッチングの場や資金確保など中間支援の場
- ④コミュニティプランの進捗状況の確認やプラン更新の場

円卓会議の役割や進め方について説明しました。

詳細は表のとおりです。

円卓会議の役割や進め方

役割	概要	目指す姿
①まちづくりの様々な課題やアイデアを語り合い、共有する場	まちの課題や心配ごと、気になっていることを気兼ねなく語り合うことが重要です。すぐに解決することもあれば、長年に渡り検討しなければならないこともあります。様々な主体が集まる場で新たな価値観に出会う場です。	まちの心配ごとや困りごと ↓ 自由に相談 ↓ 具体的な案件は②へ
②プロジェクトのタネを持ち寄り、実践する創発の場	①で共有された内容ややってみたかったこと、コミュニティプランのプロジェクトなどを相談し、小さなことから実践するための場です。 円卓会議にて地域に向け相談・報告することで、地域とのコミュニケーションを行う場です。	今度●●してみたい ↓ 相談 ↓ 小さなことから実践 ↑ 報告
③ネットワークを生かしたマッチングの場や資金確保などの中間支援の場	活動を始めたばかりでも、長年活動している団体でも、常に人手不足や高齢化に悩んでいるものです。 地域で活動してくれる団体を応援したり、ノウハウを伝達したりすることは、持続可能なまちにつながります。	イベントをやりたいけど協力者がいない ↓ (この団体なら協力者を集められるかも) (うちの団体と協力すれば効率的かも) 
④コミュニティプランの進捗状況の確認やプラン更新の場	コミュニティプランは策定して終わりではなく、随時進捗を管理したり、実行して分かった成果や課題、時代の流れなどを加味したりすることで、より良く修正していく必要があります。 市では概ね5年後を目途に計画の見直しをみなさんとともに進めます。	コミュニティプランの実行 ↓ 成果や課題の共有 ↓ ↑ コミュニティプランの見直し



2 円卓会議の親しみやすい名称を考えよう

【概要】

円卓会議を地区の中で認識してもらい、この地区独自の取組となるよう、親しみやすい名称を検討しました。なお、多くの意見が挙がりましたので、次回以降の会議の中で決定していきます。

【市から提案した条件】

- ・名称は、●●●●会議とします。又は会議が連想できる名称とします。
- ・単位は川柳ブロック（青柳 1～8 丁目、青柳町、柿木町）とします。

【テーマ】 地区の夢を構想する会議	
挙げた意見（会議省略・順不同）	
独創的	チャット川柳
	Evolution～革命～
	フリーサークル ZATSUDAN
	川柳スナック
	ドリーム
	キャッチフレーズ 3つ+会議
	ZATSU ダンス
	妄想
普遍的	愛する
	川柳ブロック活性化
	川柳ミライを語る
フリートーク	
アイデア・ヒント	<ul style="list-style-type: none"> ・上手くモジる 変わる+川柳=変柳（かわやなぎと読む） ・キャッチ-なネーミングを検討する ・「川柳」の読み方について →合併に伴い草加市と越谷市に分かれたことで川柳（かわやなぎ）となっているが、本来はかわやぎ（かわやぎ）であった。現在、川柳文化センターや川柳中学校は（かわやぎ）と呼んでいる。一方で小学校は（かわやなぎ）と呼んでおり、一般的には（かわやなぎ）が浸透している。 →昔のイメージを大切にするため（かわやぎ）とするか、一般的に呼ばれている（かわやなぎ）と呼ぶかは今後の検討材料である。

※名称については、引き続き会議の中で検討していきます。

3 進行中のプロジェクトについてみんなで考えてみよう

①【居場所づくりプロジェクト（コミュニティプラン No1,No2）】

身近な施設を利用して、多世代が集える居場所づくりを行います。
 まずは、活動の土台をつくるため、イベントを実施しながら、ノウハウを蓄積させています。

【円卓会議内で話し合いたい議題】

● 地域にどのような居場所が求められているか

（補足）多世代の居場所をつくるためイベントを実施しながら、地域にどのような居場所が求められているかを考えていますが、イベント参加者だけでなく、多くの意見を収集することが重要であるため、円卓会議内での協議事項としました。

項目ごとの意見	自由意見
【年代】 ・乳幼児のママ ・母親 ・子どもだけで参加できる	-
【場所】 ・屋内→川柳文化センター ・屋外→公園、公共施設の庭、広い場所	・公共施設だと自由度がないため、現在に合った利用方法の見直しが必要 ・民間施設（空き家や空き地など）の活用ができると良い。
【コンセプト】 ・越谷市の県民健康福祉村 ・児童館	・短期的、中期的、長期的なスパンを考えた方がいい。 ・「 子どもの考え 」を取り入れるべき
【現状】 ・ボール遊びできる公園が少ない ・4丁目ふれあい公園はサッカーをしている子どもがいる	・昔と違い、子どもの数も減っているため、公園できる遊びを見直してもいい。
【 子どもの考えの取り入れ方 】 ・子どものホンネを聞き出す会議にする	・子どもに話させようと大人が誘導しても、今の子どもからはホンネは引き出せないのではないか。 ・グループエンカウントの方式（くじでグループをつくり、子ども同士が話す又はファシリテーターが仕切り子どもが中心に話す）がアメリカで実績がある。

● 最も大切にすべきもの ●

子ども（ミライ）を大切にする地区

①【にぎわいづくりプロジェクト（コミュニティプラン No6,No9）】

そうか公園をより魅力的な公園とするため、自然環境の保全や環境資源として活用できるよう官民連携の取組を実施します。

また、子どもたちが自由な発想でのびのびと遊べる環境をつくり、地域のシンボルとなる公園づくりを実施します。

【円卓会議内で話し合いたい議題】

- そうか公園での困りごとと感ずること

（補足）そうか公園を魅力的な公園とするため、「子ども達が本当に遊びたいコト」を聞くイベントを実施していますが、多様な主体から意見を聞きたいと考えているため、円卓会議内での協議事項としました。


項目ごとの意見	自由意見
【年代】 ・子ども向け→ボール遊び、自転車の乗り方が学べる場 ・大人向け→ヨガ、フリーマーケット	・マルシェなどが数多く開催されているといい。 ・地区の住民だけで企画から実行することは難しいので、外部の方がイベントを開催する際に協力できるような体制が重要である。
【場所】 ・多目的広場を限定的に開放できるといい。	・校庭は自由に遊べるのか。 →平日の夕方であれば開放されている。ただし、学童保育の兼ね合いなどにより、野球などは一部制限されている可能性がある。
【参考事例】 ・交通公園	・小学3年生で自転車交通安全教室を実施しているが、1クラスに5人以上は自転車に乗れない子どもがいる。

そうか公園は地区のシンボルであり、使い方を考えるには時間が足りない。

→次回以降もテーマに取り上げ少しずつ検討を行う。


4 情報提供

①子ども遊び場開放事業



草加市 PRESS RELEASE

プレスリリース (報道記者各位) 令和5年12月11日 草加市役所 市長室広報課

 サッカー・野球、ドッジボールも！
小・中学生のボール遊び場所を提供します
「こども遊び場開放事業」1月4日(木)開始

★「自由に遊べる空き地」を求める小中学生の声に応えます
12月1日現在、市内では63か所ある公園のうち4か所でボール遊びができますが、他の利用者や近隣住民に迷惑をかける可能性が高い行為は制限せざるを得ず、また、整備された運動施設は事前登録や予約が必要で、こどもたちからは放課後自由に集まり、自由に球技を楽しめる場所がほしいとの声があがっていました。

★総合運動場を平日午後3時以降、小中学生に開放
そうしたこどもたちの要望に応え、予約なしで自由に遊べる場所として、軟式野球・ソフトボール・グラウンドゴルフ場として予約制・有料で貸し出している市営総合運動場を予約不要・無料で開放します。利用は令和6年1月から。
＜所在地＞草加市青柳7-70-10
＜開放時間＞平日午後3時～夕焼けチャイム
＜対象年齢＞中学生以下 親子での利用可
【禁止事項】占有、飲食(水分補給以外)、火気、ペット同伴、ラジコン・ドローン等

★「こどもまんなか そうか」予定を3か月早めて開放します
市では「だれもが幸せなまち草加」の実現に向けて、こどもまんなか応援サポーターを宣言しています。当初、令和6年4月開始を予定していた開放事業を3か月前倒したのは「公園でボール遊びがしたい！」というこどもたちの声に応えたいと考えたため。たった3か月ですが、こどもたちにとってはかけがえのない時間です。ぜひ、仲間と思いきり体と心を開放する時間を楽しんでほしいとの思いから踏み切りました。今後もこうした場所を確保できるよう検討していく予定です。

【お問い合わせ】
こども遊び場開放事業 自治文化部スポーツ振興課 電話048-922-2861
こどもまんなか そうか 子ども未来部子育て支援課 電話048-922-3492

こども遊び場開放事業として、先進的な取組が実現しています。実際に遊んでいる子どもや保護者からのお声があれば、お知らせください。

②『あおぷれ』の立ち上げ

「あおぷれ」は青柳地区のプレーヤーの略です。メンバーの一人ひとりが地区をより良くするためのプレーヤー。自分たちが楽しみながら「ちよつとすつ」をモットーにみんなが主役のこの地区で、一歩一歩踏みしめながら進みます。その足跡を追って、新たなプレーヤーが育つことを願いながら。

あおぷれ

地域をより良くする組織

地域の困りごとは自分たちの手で

川柳地区コミュニティプランを実行するための体制として、団体化しました。スタート時は小さな組織ですが、多くの方々と連携し、地区を支える存在となれるよう尽力します。
代表 手塚 久典
副代表 今村 美穂子 メンバー計12名

居場所づくり × にぎわいづくり × 行政

居場所づくり
『この曜日のおこに行けば、いつもだれかがいて、そこは私にとって居心地のいい場所』
そんな地域の方々のサードプレイスとなれるような居場所づくりを行います。

にぎわいづくり
『いまの公園はできないコトが多く、子ども達が本当に楽しめる場所になっているだろうか…』
子ども達が本当に遊びたいコトを知るために、イベントを行いながら、施設利用者と管理者をつなぐ窓口となるフリーパーク協議会（仮称）を設立します。

地域の
皆さまへ

イベントのコロナ対策や送迎への協力者、集まる点が創りは連絡ください。
（窓口）
〒48-922-0183 津島市都市整備部都市計画課 地区拠点整備科
電話 048-922-0183
メール toshikeiaku@city.soka.saitama.jp

準備中

コミュニティプランのプロジェクトを推進するための団体として、地域をより良くする組織『あおぷれ』が誕生しました。スタート時は地区の住民12名であり、プロジェクトの推進や地域の困りごとを解決するために活動します。

③マルシェエキマエ 谷塚

谷塚西口
駅前広場で
マルシェ

KNOW LOCAL

LOCAL CULTURE

3.17 日 10:00~16:00

谷塚駅西口地区 まちづくり用地

マルシェ エキマエ 谷塚

ICHI

with love
from
Toshiko

「暮らしを豊かに感じるマルシェ」をテーマに開催しています。毎回、暮らしの中での豊かさを感じていただける素敵なお店に出店していただいています。今回は、「会経」「遊び」を通して、まちとふれあう場を作ります。大人だけでなくお子様も楽しめるマルシェにぜひお越しください。

最新情報は
Jacket.com
をCHECK!

主催：草加ローカルプロジェクト 後援：草加市 協力：谷塚西口商店会、谷塚駅東口商店会
supported by 隅田川マルシェ実行委員会

SOKA LOCAL STORY

マルシェ エキマエ について



第2回円卓会議の開催について

【お知らせ】

第2回円卓会議（仮称）を開催します。

令和6年5月17日（金）19：00～

川柳文化センター 会議室

【お願いごと】

- ・会議の中で議題にすること（会議の中で参加者と話し合うこと）
- ・会議の中で周知すること（イベント、行事等）を募集します。

※会議内での取扱う議事や周知内容は、公益性の高いものとし、草加市で事前に確認するものとします。

参加いただける場合は令和6年5月10日（金）までに、次の担当までメール又は電話にてご連絡ください。

議題にしたいこと、周知したいことがあれば、調整が必要となる場合がありますので、早めにご連絡いただけますと幸いです。

【連絡先】

草加市都市計画課地区拠点整備係

電話：048-922-0183

メール：toshikeikaku@city.soka.saitama.jp



メール用 QR コード